

熊本の皆さん  
「大家好」!

ターチャーハオ  
※ 大家好: 中国語で「こんにちは」



私は何超(か・ちょう)と申します。名前の読み方は日本語の「課長」と同じなので、よく友人に「課長」と呼ばれています。熊本の友好都市桂林から参りました。これからの一年間、市役所のシティプロモーション課国際室に国際交流員として務めさせていただきます。趣味はサッカー観戦写真撮影、音楽鑑賞です。カラオケもよく行きますが、歌声はコナン君(マンガ名探偵コナンの主人公。音痴で有名)レベルです。ちなみに、今回のサッカーワールドカップ大会は日本代表とアルゼンチン代表を応援しています。

桂林市は熊本に劣らない美しい風景に恵まれており、市の中心部に流れる漓江の兩岸には奇峰・奇岩が連なり、山水画のように美しい独特の景色が広がり、毎年国内外から多くの人々が訪れる国際観光都市です。そして、1979年の友好都市締結に始まりました熊本・桂林両市の友好関係が様々な分野において実り多い成果をあげ、本年いよいよ35周年を迎えることが出来ました。それは多くの熊本市民の皆様のご理解、ご支援の賜物であり、ここに改めて深く感謝申し上げます。

これから一年間、日本・熊本生活の中で、中国文化講座やサロンなど、色々なイベントを催すことで、熊本の皆さんに中国、桂林市に対する理解を深めいただき、多くの方と友情の絆を築き上げたいと思います。そして、友好都市間の交流事業をより一層発展させるために、微力ながらも貢献してまいりたいと思っていますので、市民の皆さんからのご支援とご協力をお願い申し上げます。

何さんのことをもっと知りたい! ということで、インタビューを行いました。

(イ: インタビュアー、何: 何超さん)

イ: どうして日本語の勉強を始めたんですか?

何: 高校生のとき音楽が好きでバンドのボーカルをしていて、日本の音楽に興味を持ちました。そこから日本語に興味が出てきましたね。

イ: 今回が初めての来日ということですが。

何: そうです。大学では日本語専攻でしたので、日本に行ってみたいと思っていましたが、みんなレベルが高いので留学は100人に1人の狭き門だったんです。だから念願の来日です。

イ: 日本に来て驚いたことは何ですか?

何: 人が少ないと思いましたね、中国は人が無駄に多いので。(笑) 今住んでいるところは、昼でも人が少ないので寂しいです。でも、人が少ないのは静かで、心が落ち着きます。電車の中でも静かなのはいいですね。来熊した中国人はみんな思うんじゃないかな。

イ: 日本に来て何か困ったことはありますか?

何: GWに天草の下田温泉やいろんな地方に行きましたが、年配の方と話すときに方言が全く分からなくて大変でした。同じ国際交流員のキューレンさん(カナダ出身)は日本人でも知らないような日本語を知っているので、いつも聞いて表現を勉強しています。

イ: GWのお話が出ましたが、日本でどこか旅行に行きましたか?

何: 長崎、鹿児島、阿蘇などです。特に鹿児島の海は、これまでいった海の中で一番きれいでした。

イ: お休みの日は何をされているんですか?

何: 以前はバンドをしていました。今でもカラオケには行きます。日本の曲も歌いますよ。スポーツ観戦も好きで、ワールドカップでは日本・アルゼンチンを応援しています。

イ: それでは、最後に業務の中で大変だったことを教えてください。